

優秀賞 題名 ありがとう介護士さん

涌谷第一小学校 五年 吉田 咲紀

私のおっぴさんは2年前に施設で亡くなりました。元気な時は自宅ですもうを見たり、歌のテレビを見て歌ったりしていました。でも風邪をひいてから徐々に体力が低下していき、思うように体が動かなくなっていきました。今までできていた排泄も失敗するようになり、あんなに好きで毎日入っていたお風呂も3日に1回、4日に1回と入らなくなっていきました。私のおばあちゃんと、お母さんでおっぴさんのお世話をするのですが、昼夜関係なくオムツの交かんや体の移動などしなければならず、疲れはてて施設入所する事になりました。

施設に入ってからスタッフの方が交たいでおっぴさんのお世話をしてくれて、時々私がいに行くとき「おーおー、よく来たねー。」と笑顔でむかえてくれました。施設の人達はみんな優しくしてくれて、助かっているそうです。2〜3時間おきにオムツの点検や、食事の手伝い、着がえの手伝いなどしてくれるそうです。中には、ねたきりの人も入所しているそうでオムツの交かんの時に、体の体せいをかえてあげたり、具合の悪い所がないか、体の観察もしていくそうです。家で私のおばあちゃんとお母さんがおっぴさんのお世話をしている時は疲れきった顔をしていただけ、施設の人は笑顔で嫌な顔ひとつみせず何十人の人のお世話をしています。すごいなあ…と思いました。

おっぴさんが施設に入る前は本当に施設に入れていいのかすごく悩んでいましたが笑顔のおっぴさんを見ると、家にいた時とは違い楽しそうで、本当によくしてもらっているんだなあと安心しました。おっぴさんが亡くなったのは悲しいけれど楽しそうに笑っていたあの顔は忘れられません。

誰かを助けてあげたり、優しくしてあげることが、自分の気持ちも明るくうれしい気持ちになるので、私も困っている人がいたら手をさしのべたいです。